

2010年8月吉日

報道関係各位

## 株式会社チュチュアンナ 売上拡大により物流センターを移転 保管能力が2.6倍に



＜チュチュアンナ大阪ロジスティクスセンター外観＞

女性用靴下・インナーSPA（製造小売）の株式会社チュチュアンナ（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：上田 利昭）と物流子会社であるチュチュアンナデリバリーサービス株式会社（本社：大阪市阿倍野区、代表取締役社長：藤山 紳一）は、現在の物流センターを移転し2010年8月17日より本格稼動することとなりました。

**物流センター移転の最大の目的は、売上拡大にともなう物流拠点の保管・処理能力増強です。**

弊社では、2005年より店舗開発を強化してまいりました。毎年35店舗～40店舗を新規出店しており5年前と比較して店舗数は約2倍の189店舗<sup>注1</sup>に、売上は約2.5倍の172億円<sup>注2</sup>に成長してまいりました。さらに、昨年からはインナー・ウェア事業の拡充にともない、店舗規模の拡大も強化しております。

今後もさらなる売上拡大を目指すためには、物流の保管・処理能力増強をおこない、安定した供給体制を確立することが必要不可欠であると考えております。

注1・・・2010年7月末日時点の店舗数

注2・・・2010年7月期末時点での速報値

**NEWS RELEASE****【物流センター移転による効果】****● 外部委託費用の削減および配送効率のアップ**

現在の物流センターは、十分な在庫保管スペースが確保できないことにより、業務効率の低下、一部商品の保管を外部委託することによる物流情報管理や配送効率の低下、拠点数に比例した費用の負担増などが問題となっていました。

新物流センターの稼動によって保管能力が従来の約 2.6 倍に向上することから、保管拠点が集約化され、配送効率の向上や物流情報の一元管理が実現します。

**● 新機器導入による人件費率、業務効率の改善**

新物流センターにはストックフロアからピッキングフロアまで商品を運ぶ、バーコードリーダー搭載の商品自動補充機器が新たに導入されます。同機器の導入により、ストックエリアのレーンに商品を置くだけでピッキングフロア内の該当エリアまで商品が自動で移動するため、人の手による移動作業が大幅に削減され、業務効率の改善が実現します。

物流センター移転と稼動にともない、抜本的な業務効率の改善を図ります。

**【新物流センター概要】**

施設名	チュチュアンナデリバリーサービス株式会社 チュチュアンナ大阪ロジスティックスセンター
所在地	大阪市住之江区柴谷 1-2-23
敷地面積	10,726 m <sup>2</sup> (3,245 坪)
延床面積	17,342 m <sup>2</sup> (5,246 坪)
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造・地上 4 階建
トラックバース	1 階： 大型車 (11t×12 台)、小型車 (2t×12 台) 2 階： 小型車 (2t×28 台) ※スロープよりアクセス
保管能力	約 17,200 t
稼動予定	2010 年 8 月 17 日

- 本件に関するお問合せ -

株式会社チュチュアンナ 通販・広告グループ

広報担当:日高 TEL:06-6773-4814 FAX:06-6710-2102